



DATA
 ●部員数：女子40名(1～3年生)
 ●活動時間：週4回/各3時間程
 ●ジャンル：ロック、ヒップホップ、ジャズ、ガールズ
 ●最近のおもな成績：ミスダンスドリル関東大会、DCC決勝進出、ダンススタジアム出場など



①笑顔が絶えず、和やかな雰囲気。
 ②ジャンル別に別れて、基礎から練習！
 ③引き継ぎの時期は3年生から2年生へ指導が入る。
 ④生徒同士で教えたり確認し合う姿が多く見られた。
 ⑤顧問大津先生の熱いダンスレッスン！

東京都

立川女子高等学校

顧問のダンス愛で成長する部員たち

鏡の前で「1、2、3、4！」と声出ししていたのは、はつらつとした高校2年生。取材したこの日は、ちょうど3年生が2年生に引き継ぐ時期だったようで、2年生を主体に練習が進み、要所で3年生がフォローする姿が見られた。ジャンル別練習が終わると、グループごとに反省会が行なわれた。

練習の後半は、ダンス部顧問2年目の大津先生によるヒップホップレッスン。ダンス経験者の顧問は珍しく、それだけ同校は恵まれた環境と言える。「最初は顧問からダンスを教わることに戸惑いもあったようですが、2年目から大会や外のイベントに出るようになり、部員たちのダンスに対する意識が変わってきました」と嬉しそうに話す大津先生。「もっとうまくなりたい！」という前向きな気持ちを感じさせる部員たち。次なる目標は自分たちだけで振り付けができるようになることだという。顧問から生徒へ受け継がれるダンス愛が、次世代の新しい「ダンス部のカチチ」を感じさせた。

ドキュメント ダンス部の「日々」

今回は4校の個性派ダンス部へ潜入！ 大会やイベントで大忙しの夏休み。熱い青春の「ダンス部の日々」を紹介しよう。



DATA
 ●部員数：女子56名(1、2年生)名
 ●活動時間：週4回/各2時間程
 ●ジャンル：ヒップホップ、ジャズ、ガールズ
 ●最近のおもな成績：NHKスクールライブショーストリートダンスバトル出演、ダンススタジアム決勝進出など



神奈川県

横浜平沼高等学校

世界的ダンサー 仲宗根梨乃がスペシャルレッスン

今年の夏、横浜市文化観光局の次世代育成プログラムの一環として行なわれた、プロダンサーによる高校ダンス部訪問。第1回目は、ジャネット・ジャクソンに認められた日本人ダンサー仲宗根梨乃が、横浜平沼高校に訪問した。

レッスンが始まる前に、まずは2年生の大会作品を見てもらうことに。緊張しながらも、練習を重ねた作品を精一杯披露した。「良い作品を作るなら、アイデア・努力・チームワークが大事!」という世界を見てきたプロダンサーの言葉を、部員たちは一言一句残らず必死にメモを取っていた。

レッスンは、ストレッチとリズム取りが混ざったような、スピーディーなアップからスタート。これぞ海外で活動してきた仲宗根梨乃のレッススタイルである。最初は動きについていくのが必死だった生徒達も、だんだん表情に余裕が出てきて、楽しむことを体で感じられるように。仲宗根梨乃が教えた「楽しむことが一番大事」ということが、心と体で伝わった貴重な一日となった。

①日が差し込む校内の広い多目的ホールがレッスン場所。
 ②世界で活躍するダンサーのオーラに圧倒される！
 ③ワークショップは、自分たちのレベルを知る良い機会になる。
 ④プロからのアドバイスを一生懸命にメモする部員たち。
 ⑤大会用のダンスを仲宗根さんにチェックしてもらった！

東京都

鷺宮高等学校

華やかさナンバー1の人気都立高校

練習場に行くと、カラフルで今どきな練習着のダンス部員たちが「おはようございます!」と元気に声を出す。部活というよりも、街のダンススタジオのような雰囲気だ。「生徒たちのやりたいことを自由にやらせています」という、元気ハツラツな体育会系の佐々木先生。時には生徒と一緒にしゃべったり、時には厳しく指導する先生に、部員たちは自然と心を開いているようだ。

練習が始まると、現2・3年生のほとんどがダンス経験者ということもあり、一人一人の意識の高さがうかがえる。大会への出場メンバーはオーディションで決まる形式で、今年は2・3年生の中から上位17人が選ばれた。部活とは言え厳しいダンスの世界だ。「自由に楽しく真剣に」そんな部全体の雰囲気1年生にも伝わり、自主的な活動が生まれるようになる。ダンスの本来の楽しさと、部活ダンスという教育的側面をバランスよく自然に持ち合わせる、鷺高ダンス部だ。

①ガラスに囲まれた中庭は、ダンス部にとって最高の練習場所。
 ②学年ごとに、校舎のいろいろな場所へ散らばって練習！
 ③部長の細田さんを中心に、笑い声の絶えない華やかダンス部。
 ④部屋には名前を覚えるために貼られた顔写真をたくさん☆
 ⑤中庭では1、2年生が各作品の練習中！
 ⑥上級生のキレのあるダンスは後輩たちの憧れ♪



DATA
 ●部員数：女子85名、男子8名(1～3年生)
 ●活動時間：週5回/各2～3時間程
 ●ジャンル：ヒップホップ、ガールズヒップホップ、ジャズ、コンテなど
 ●最近のおもな成績：DCC決勝進出、ダンススタジアム決勝進出、東京ドーム巨人阪神戦オープニングなど



東京都

品川女子学院

中高一貫150人の歴史ある「縦の流れ」

練習場所の体育館に入ると、150人の部員が整列してストレッチをしていた。広い体育館がとても狭く感じるほどだ。この日は文化祭のフィナーレ練習からスタートし、150人の部員たちが一斉に踊り出す姿は大迫力!

次に、高校2年生が舞台上から全学年に振り付けをしていくのだが、この体育館には鏡が一面にしかないため、ほぼ鏡のない状態での練習になってしまう。だからこそ舞台上からの先輩の細かいチェックが必要となり、同時に部員たちは自分がどんな動きをしているかイメージすることが大事なのだ。

後半は、各学年の作品練習。この日はOGの近藤コーチが作品の仕上がりをチェックしに来ており、表情や構成の見え方、動きの正確さなど、客観的に細かくアドバイスをしていた。品女では、OGによる基礎レッスンや作品指導が頻りに行なわれるという。中学生は高校生を見て学び、高校生はOGを見て学ぶという「縦の流れ」が、由緒ある品川女子ダンス部の伝統を支えているようだ。



DATA
 ●部員数：女子150名(中1～高校2年生)
 ●活動時間：週3回/各1時間半
 ●ジャンル：ヒップホップジャズ、ジャズ
 ●最近のおもな成績：DCC東京ヘッドライン賞、ダンススタジアム決勝進出など



①中高合わせて150人。全員で踊ると大迫力!
 ②まだ初々しい中学1年生は初ステージに向けて練習中。
 ③OGである近藤コーチが各学年の作品チェック。
 ④大会中心メンバーの高校2年生は、細かい角度まで時間をかけて確認。
 ⑤中学生への指導は、高校2年生が行なう。